

洪水時に川の水位状況を確認できる量水標を設置！

～流域住民の皆さんが、洪水時に川の水位状況を確認できるよう
はんらんの恐れがある個所（危険個所）に量水標を設置しました。～

青森河川国道事務所では、量水標を岩木川と馬淵川に設置しました。量水標の設置によって、流域住民の皆さんが、自分の目で降雨時の水位状況を現地から確認することが可能となり、洪水時の自主的な避難や地域および自治体の水害対応に広く役立てるものです。

【量水標の設置範囲】

量水標は、洪水予報指定河川の岩木川、平川下流、馬淵川下流と、岩木川水位情報周知河川の浅瀬石川を対象に計16箇所設置しました。

【設置個所について】

量水標は、青森河川国道事務所が管理する川の区間で、堤防や地盤が低く、大洪水の時にははんらんする恐れのある個所に設置しました。

【量水標の表示について】

量水標には、簡単に水位を確認できるように数字で読みとる目盛板と、危険水位、特別警戒水位（浅瀬石川のみ）、警戒水位、指定水位が分けされた文字板を一緒に表示しました。また、目盛板と文字盤には、光を反射する材料を使用し、夜間時にも目視で確認できるようにしています。

※量水標とは：河川の水位を目視で読みとるための標識



危険水位 (赤)	警戒水位を超え、さらに水かさが増し、はんらんにより重大な被害が起こる恐れのある水位です。
警戒水位 (黄)	降雨などで水かさが増し災害の恐れがある水位をいい、水防団が水防活動を開始するために準備する目安になる水位です。
指定水位 (青)	降雨などで水かさが増し水防団が水防活動を開始するために準備する目安になる水位です。

川の危険個所位置図

